06 漁業･水産業

福井県小浜市　坂田　凱斗

～　牡蠣で小浜を盛り上げる　～

漁業・水産業

基本情報



【年　齢】
21歳
【出身地・転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
なし（高校卒）
【活動時期】
R5.5～R8.4

協力隊に応募したきっかけ

私は幼いときから漁師になることが夢でした。そのことから、大阪で行われた漁師就業フェアに参加した際、小浜市の漁業についてのお話をお聞きしました。その後、小浜市での現地研修や4日間のインターシップを通し、私の好きな海や自然に溢れた小浜市に大変魅力を感じ、この小浜市で漁業を学びたいと強く思い、志望しました。

今後の抱負･任期後の目標

任期後は引き続き小浜市でカキの養殖を行い、従来の「若狭かき」を中心に、令和７年にブランド化した「若狭うららかき」、「若狭こはるかき」の養殖を拡大していきたいと考えています。より多くの方に小浜のカキを味わっていただき、小浜の魅力を知っていただけたら嬉しいです。
また、カキ生産組合や会社などをつくり作業効率を上げるため機械等の導入なども行っていきたいと考えています。

活動内容

●産学官連携養殖研究作業

夏場の高海水温によるカキの斃死対策として、令和５年度から養殖を開始したカキを、令和７年５月に福井県立大学や小浜市漁業協同組合・市と連携し「若狭うららかき」としてブランド化し、小浜市長へお披露目と報告を行った。



●カキ養殖作業

季節ごとに4種類のカキの出荷を行っている。
　春：若狭こはるかき
　夏：ふくい岩がき
　秋：若狭うららかき
　冬：若狭かき
上記のかきの出荷へ向けて小浜湾の筏を中心に日々作業を行っている。



●水産物販促・ＰＲ活動

シーフードショーやイベントに参加し、水産物の流通販売およびＰＲ活動に参加。
イベントで販売したカキは長蛇の列ができるほど大人気で、市内外の来場者に対しその魅力を発信し、認知向上に努めた。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））kaidoubantian@gmail.com
（電話番号（個人））090-6551-9012

兵庫県姫路市　小林　昂祐

漁業・水産業

～　経済力×幸福度＝活性化　ー家島諸島の挑戦ー　～

基本情報



【年　齢】
３２歳
【出身地】
兵庫県姫路市
【転出元】
東京都北区
【前　職】
環境コンサルタント
【活動時期】
R5.4～R8.3（予定）
３年目

協力隊に応募したきっかけ

私の原点は、祖父や叔父が漁師として抱えていた「もっと学があれば地域をよくできた」という悔しい想いと、祖父の「必死に生きているモノは美しい」という言葉です。

大学で学んだ水産環境学と、前職で環境コンサルタントとして宮城県石巻市の地域振興プロジェクトに関わった経験を活かし、科学的知見を「実践」に結びつけて地元・家島諸島に貢献したいと考え、地域おこし協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

令和7年10月に自ら起業した水産加工食品（缶詰）会社「お魚旬船便合同会社」を核として、「製造・販売・体験」を一体化した仕組みづくりを構築していきます。この取り組みは、働く場所と誇りの循環を生み出し、「経済力×幸福度＝活性化」という家島諸島の新しい地域モデルを確立することを目標としています。この地域モデルが、内湾域の地域における「成功事例（フラグシップ）」として役割を担えるよう、地域とともに航路を定めていきます。

活動内容

●島の魅力を発掘！「家島ファン」を増やす広報活動

移住者向け情報誌や地域のカレンダーを制作し、単なる「観光情報」ではなく「島で生きる人の物語の一端」に焦点を当てた情報発信を行っています。島民が自身の暮らしに誇りを持ち、島外の人が共感を寄せる好循環づくりを行っています。家島諸島を知る人が増えることが住民の幸福度向上につながります。



●新たな魅力！漁師のまかないをプレミアム缶詰で商品化

漁師のまかないを再現したプレミアム缶詰づくりに挑戦しました。原料の提供や試食会を通じて島民が参画し、「自分たちの味が、そのまま大事な人に届く」という手応えを獲得しました。この取り組みは雇用と経済の再循環を実現すると同時に、地域の誇りを守りながら、新たな産業の基幹を育てる大きな挑戦です！



●「自分たちで守る島」へ！防災を“文化”にする仕組みづくり

離島である家島諸島にとって不可欠な災害への「自助意識」を高める活動を進めています。消火栓リーフレットを作成し、消防団任せにせず、島民一人ひとりが初期消火の知識を共有できる仕組みを構築しました。防災を地域の「文化」として再定義し、「自分たちの生活を自分たちで守る島」という意識を根付かせています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）職場;kousuke_washio@city.himeji.lg.jp
個人;wac02kou@gmail.com
（電話番号 ）職場; 079-325-1001　個人;080-6156-3258
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（姫路市HP）姫路市地域おこし協力隊 | 姫路市

@OSAKAN_SYUNSENBIN

熊本県山江村　千野　洋

漁業・水産業

～ヤマメ養魚場の管理・運営、尾寄崎地区キャンプ場再建～

基本情報



【年　齢】
60歳
【出身地】
東京都板橋区
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション（株）デザイン部
【活動時期】
R7.7~R10.6

協力隊に応募したきっかけ

知人が岡山県西粟倉村にて協力隊員を経験されていました。３年の協力隊員活動後、その土地で起業している姿を目の当たりにして、人生を楽しんでおられている事に刺激を受けました。協力隊員応募において、自分としては何ができるのか、何に興味があるのかを改めて見直し、子どもの頃の夢であった、魚に関わる業務である山江村の地域おこし協力隊に応募させていただきました。

今後の抱負・任期後の目標

現在の活動を継続し、役場メンバーと活動中に立ち上げた事業で安定収入を得られるようにすることです。
関係人口を増やすことを重視した、イベント活動を企画し、それに伴い地元の方の雇用を生み出す事業として育て上げ、山江村の発展に貢献したいと考えています。

活動内容

●ヤマメ養魚場の管理・運営



組合長の補佐役としてヤマメの養殖を行っています。
・餌やり・大きさ選別・いけす移動
・出荷準備（内臓だし、頭削除、真空パック詰等）
・採卵受精・稚魚育成
・山江村、人吉市の各イベントへの参加
（ヤマメつかみ取り・焼きヤマメの提供）

●山江村尾寄崎地区のキャンプ場再建



山江村尾寄崎地区の尾寄崎キャンプ場は令和2年の水害により被害を受け、現在は閉鎖されています。
このキャンプ場は元地区の小学校であり、地元の方にとっては思い入れのあるキャンプ場です。再建するにあたって村役場の皆さんと尾寄崎地区の特色を明確にしたコンセプトを創り上げました。
また、キャンプ場再建後「キャンプ場にキャンプを楽しむために行く、コテージに泊まりたいから行く」という一般的キャンプ場利用の概念から脱却しなければ、これからのキャンプ場の経営は成り立たないと考えています。「尾寄崎キャンプ場で、面白いイベントがあるから行こう！」というコンテンツを村役場メンバーと企画し、積極的にアピールする「攻めの経営」で再オープンに向けて進めています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））yamae.chino@gmail.com
（電話番号（個人））090-1908-8259

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）
https://www.facebook.com/share/17GWiNYNn8/?mibextid=wwXIfr

沖縄県国頭村　岡部　拓也

漁業・水産業

～　新たな特産品開発を目指して　～

基本情報



【年　齢】
36歳
【出身地】
東京都足立区
【転出元】
東京都杉並区
【前　職】
(株)フーディソン
サカナバッカ店長
【活動時期】
R7.7～R10.3

協力隊に応募したきっかけ

魚や海が好きでいつか沖縄に移住して自分で仕事がしたいと思っておりました。前職の魚屋で国頭の魚を仕入れ販売していたことから国頭村を訪れ、地域おこし協力隊のおためし・インターンなどを経て地域の方と交流する中で国頭村で自分のやりたいことで（陸上養殖・水産などで）国頭村自体を盛り上げることができそうだなと感じ応募しました。前職の御縁と国頭村で出会った方とのフィーリングが合ったのが良かったなと思っています。

今後の抱負･任期後の目標

現在は主に自分のやりたいと思っていた海ぶどうの陸上養殖をメインにやっておりますが、安定的な生産を来年の目標に、販路の拡大や観光場としての活用、陸上養殖場の経営、国頭村唯一（沖縄本島最北端）の陸上養殖場として人が集まるような取り組み、色々な活用をしていけたらと考えています。

並行して海人の活動も同時にやっていけたらと思っています。

活動内容

国頭漁業協同組合の活動

国頭漁協の活動としては主に人手不足時の定置網の操業に従事しております。いずれは前職の知識を活かして東京へ出荷する魚の選別などにも携わる予定です。組合のサンゴ部会の仕事でサンゴの保全活動にも参加させていただいております。



陸上養殖の活動（Sea Life）

こちらが活動のメインで、宜名真漁港で海ぶどう、サンゴ、シラヒゲウニ、シャコガイなどの陸上養殖をやっております。初年度ということもあり安定的な生産もまだまだで日々検証の繰り返しです。少しずつ販売もできるようになってきました。観光場として活用出来たらとも考えています。



海人活動（組合＆Sea Life）

定置網漁、潜り漁、釣り漁などの活動に触れさせていただいております。漁以外にも養殖という面でいうとサンゴを養殖したものを海に戻したりしています。赤土の調査、サンゴの調査などにも同行したりしています。まだできていませんがモズクの養殖、アマモの保全などにも力を入れていきたいです。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））　kobanzame.tk@gmail.com
（電話番号（個人））080-2012-7455
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram⇒@sakananomikata　（個人）@kunigami.umibudou (陸上養殖)